



封事

一等檢査官従五位小野梓呈

特別  
カ1  
4550



特  
門カ1  
號4550  
卷

大臣論事書



一等檢校左官從五位小野梓謹シテ書ヲ三大臣閣下ニ上ル臣梓  
日ノ勅諭ヲ奉スルニ天皇聖明大政維新ノ初志ヲ成  
サセ給ヒ將サニ明治二十三年ヲ期シ議負ヲ召シ國會ヲ開カ  
セ給ハントス臣愚叨リニ廷臣ノ末ニ列シ親シク斯盛事ニ遇  
フ安ソ能ク聖恩ノ厚キヲ荷ヒ整頓ソノ事ニ從ヒ經畫周備  
以テ天皇聖明ノ勅詔ニ奉對セサランヤ然ルニ今ヤ梓斯盛事  
ニ遇ヒ大ニ天下ノ為メニ之ヲ惜ムモノアリ知テ之ヲ言ハス  
ンハ其罪梓ニ在リ言テ之ヲ盡サスンハ其罪又梓ニ在リ知テ  
之ヲ言ヒ言テ之ヲ盡シ言尚ホ聽カレサルハ抑モ是レ命ナリ  
命ハ梓今敢テ之ヲ問ハス梓ノ罪ハ梓自カラ之ヲ避ケントス  
顧ルニ明治八年梓ノ歐洲ヨリ未歸スルヤ封建割據ノ餘習尚  
ホ到處ニ存シ各藩猜疑ノ陋情尚ホ所在ニ行ハレ徒ラニ置縣

昭和三十一年  
十二月三十日  
購求

ノ名アリテ廢藩ノ實ナク當時薩州藩ハ鹿兒島縣ノ名ニ變シ  
テ薩州藩ノ故態ヲ存シ山口縣ハ長州藩ノ改稱ニシテ長州藩  
ノ舊習ヲ全フス是ヲ以テ其縣人勤クモスレハ舊藩ノ聲譽ヲ  
恃怙シ尊大自カラ居リ他縣ノ人ヲ輕視スルノ風アリ而  
他縣ノ人モ亦又鹿兒島山口縣ノ人士ト聞テ亦々之ヲ敬セサ  
ルモ舊薩長ノ藩士ト稱スル時ハ忽チ驚テ之ヲ尊フノ狀アリ  
甚タシキニ至リテハ薩州人ノ如キハ猥リニ兵ヲ練テカヲ中  
原ニ試ミント欲シ愈出テ愈本邦ノ一致ヲ阻滯シ頗ル王政  
維新ノ本旨ニ背ク後十六タヒ歲月ヲ閱シ五タヒ袁葛ヲ易ハ  
明治十四年ノ今日ニ至リテ之ヲ見レハ嚮ニ兵ヲ練テカヲ中  
原ニ試ミント欲セシモノ終ニ敗レ天下ノ勢又一變セシモノ  
如シト雖モ夫ノ舊藩ノ聲譽ヲ恃ニ尊大自カラ居リ他縣ノ  
人ヲ輕視スルノ狀ニ至リテハ依然トシテ薩長人士ノ間ニ存

保善堂

シ藩閥ノ意想出ホ其勢カヲ我政治ノ上ニ逞フシ緩トナク急  
トナク動クモスレハ各自所生ノ同國人ヲ牽キ相扶ケテ以テ  
其私利ヲ謀リ日本帝國ノ公益ヲ蔑ニスルニ至ル今其一證ヲ  
擧ケハ政府顯要ノ地皆十薩長人士ノ占ムル所ト為リ甚タシ  
キハ其才識智謀未タ以テ天下ノ大事ニ當ルニ足ラサルモ薩  
長ノ人ト謂フヲ以テ遽ニ擧ケテ之ヲ宰相ニ列シ若クハ各廳  
長次ノ顯官ニ在ラシムルニ至ル誠ニ天下ノ為メニ痛歎ニ堪  
ヘサル也夫レ天下ハ日本ノ公天下ノミ王家之ヲ私有シ給ハ  
ス薩長ノ人士豈ニ之ヲ私有スルヲ得ンヤ政事ハ日本ノ公政  
事ノミ天皇既ニ之ヲ私擅シ給ハス薩長ノ人士豈ニ之ヲ私擅  
スルヲ得ンヤ然ルヲ彼輩常ニ昔日ノ功ヲ恃ミ敢テコノ妄想  
ヲ起シ我天皇ノ統御シマシマス日本ノ公日本ヲ以テ一二種  
族ノ專有スルモノ如クス其驕慢ニシテ無禮ナル王家ニ勤

ムル、情ヨリシテ之ヲ論スルモ國土ニ忠スルノ心ヨリシテ  
又ヲ言フモ共ニ之ヲ怒スヘカラサルモ、アリ唯夫レ然リ故  
ニ所謂ル專横ノ所行アリテ自カラ此勢ニ乘シ所謂ル利私ノ  
所為アリテ自カラ此間ニ行ハレ天下ノ政終ニ私情ニ成ル實  
ニ長大息ニ堪ヘサル也臣愚伏惟ルニ天皇ノ勅詔至公至平、赫  
々乎トシテ日月ヲ視ルカ如シ誰レカ天皇ノ臣子日本ノ民人  
ニシテ其德澤ヲ仰カサルモノアラシヤ然ルニ閣臣ノ不公不  
平ナル彼レノ如ク其情況濛々乎トシテ雲霧ヲ望ムカ如ク方  
サニ日月ヲ適テ鬱然散セサレハ天皇ノ明勅為メニ掩ハレテ  
外ニ輝ヤカス八表ノ有衆未タ其光ヲ拜スルニ由アラサルナ  
リ是レ梓ノ斯盛車ニ遇ヒ大ニ天下ノ為メニ之ヲ惜ム所以蓋  
シ臣民ノ至情ニ出ルナリ嗚呼堂々タル日本帝國ノ廣キ豈ニ  
唯梓ノニアリテ其不幸ヲ惜ムナランヤ實ニ三千餘萬ノ臣民

保壽堂製

異昧同心共ニ其不幸ナルヲ惜ム也惟ルニ諸公彼ノ人ト共ニ  
齋堂ノ上ニ立テ其車ヲ共ニス諸公既ニ其私擅ナルヲ知テ而  
シテ之ニ同スル乎抑モ未タ之ヲ知ラスシテ而シテ之ニ和ス  
ル乎知テ而シテ之ニ同スル時ハ是レ薩長人士ノ私擅ニ附和  
シテ日本ノ公政事ヲ私スルモノナリ未タ之ヲ知ラスシテ而  
シテ之ニ和スル時ハ是レ薩長人士ノ為メニ弄セラレ日本ノ  
公政事ヲ誤ルモノナリ政事ヲ私スルモノハ大臣ノ權ヲ弄フ  
モノナリ政事ヲ誤ルモノハ大臣ノ職ヲ辱シムルモノナリ梓  
両ナカラ諸公ノ為メニ大ニ之ヲ耻ツ是ヲ以テ今ノ時ニ當テ  
諸公務トヘキノ急ハ早ク藩閥偏倚ノ臺臣ヲ革解シ天下平業  
閣臣ヲ組成シ以テ事業ノ未タ了ラサルモノヲ整頓シ天皇聖  
明ノ勅詔ヲ對揚シ奉ルニ在リ若シ然ラスシテ諸公之ヲ忽漫  
ニ付スルアラハ閣臣愈私擅ニシテ勅詔愈々輝ヤカス天下ノ

怨薩長ノ人士ニ歸セヌシテ諸公ノ身ニ歸シ諸公ノ身ニ歸セ  
スシテ畏クモ之ヲ王家ニ歸スルニ至ラシ諸公車ヘテ聖明ノ  
君ニ遇ヒ政ヲ堯舜ノ治ニ致ス能ハスシテ却テ天下ノ怨ヲ嫁  
シテ之ヲ王家ニ歸セシメントス諸公將サニ何ノ面目アリ  
天下後世ニ對セシトスル乎臣愚亦タ坐シテ王家ノ為メニ天  
下ノ怨ヲ嫁セラレノ危類ヲ見ルニ忍ヒサル也梓ノ父節吉  
元ト勤王忠節ノ志ヲ抱キ中道ニシテ死ス嘗テ終ニ臨ニ梓ニ  
遺囑シテ曰ク汝王家ト邦土トノ為メ汝ノ身ヲ致シ以テ乃父  
ノ遺志ヲ継ケト梓時ニ年甫メテ十五爾来十有余年ノ間未タ  
曾テ一日モ之ヲ忘レス常ニ心ヲ茲ニ注ク是ヲ以テ今此ノ危  
類ト此ノ不幸トヲ知リ忠孝ノ至情黙セント欲シテ黙スル能  
ハス止マント欲シテ之ヲ止ム能ハサル也是レ此書ヲ裁シテ  
之ヲ諸公ニ上リ以テ明断ヲ仰リ所以也諸公幸ニ王家ノ為メ

邦土ノ為メ梓カ區々ノ議ヲ採擇シ以テ天下ヲ安ンセヨ然ラ  
スニハ微臣梓車ヘテ廷臣ノ末ニ列スルニ忍ヒス寧口退テ其  
身ヲ野ニ全フスルアラン耳

A table with 10 vertical columns and a blue border. The table is empty, with some faint smudges and a small blue tab on the right edge.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

和

和

